

温暖化ガスレスによる管理削減

Management reduction by global warming gasless

事業を通じたSDGsへの取り組み

オゾン層保護や地球温暖化防止のため、国際的に様々な取り組みが行われています。

1974年 フロンによるオゾン層破壊メカニズムの解明

1987年 「モントリオール議定書」採択 オゾン層破壊をもたらすフロン等の生産および消費を規制
CFC：2009年末で全廃
HCFC：先進国では2020年、途上国では2030年に原則全廃

1997年 「京都議定書」採択
先進国に対して温室効果ガスの排出量削減を義務化
排出削減対象ガスにHFCも含まれる

2015年 「パリ協定」採択
2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際枠組み
先進国・開発途上国の区別なく取組む

2016年 「キガリ改正」採択
モントリオール議定書の対象物質にHFC（代替フロン）を追加、
生産および消費を規制

※日本では2019年から削減を開始し、2036年までに85%分を削減しなければなりません。

「ノンフロンオイルチラー」

今、お使いの工作機械付属**オイルチラー**は、サステナブルな物ですか？

新冷媒HFO-1234yfを採用した、オイルチラーに交換すると！

1. オゾン破壊係数：0（ゼロ）
2. 地球温暖化係数：1未満

2015年4月施行「フロン排出抑制法」では、フロン製品ユーザに対して以下の義務が課せられました。

- ① 製品の適切な場所への設置、設置環境の維持保全
- ② 製品の定期的な全数点検
- ③ 製品の整備履歴の記録・保存
- ④ フロン類の漏えい時における適切な措置
- ⑤ 漏えい量の報告（1000CO₂-t/年間 以上の場合）
- ⑥ 機器整備時におけるフロン類の充填及び回収の委託

「フロン排出抑制法」の対象外で、管理対象を少なくし、地球環境にやさしい事業を目指しましょう！

各種冷媒 の特徴	ノンフロン HFO-1234yf	ノンフロン CO ₂	代替フロン HFC-32	代替フロン HFC-134a
オゾン破壊係数	0	0	0	0
地球温暖化係数	<1	1	675	1430

温暖化ガスレスによる管理削減

Management reduction by global warming gasless

ホットガスバイパス制御で高精度な「ノンフロン」オイルチラー

Apiste

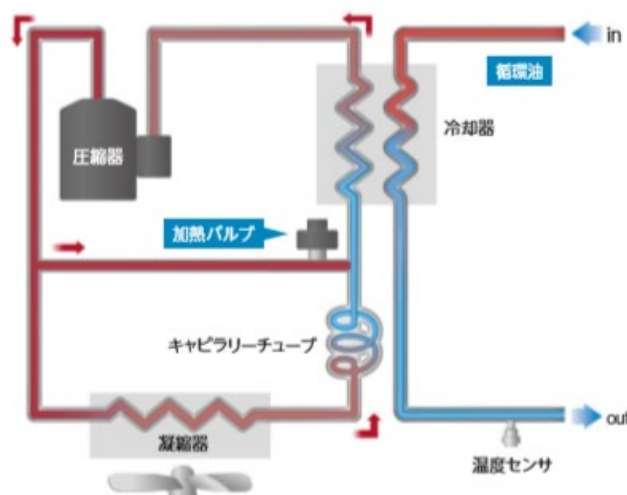
×

Shibaura Machine



ホットガスバイパス制御で
高精度(±0.1°C)

加熱バルブによるホットガスバイパス制御を搭載。冷却対象側の発熱量に応じて冷却能力を可変させることで、従来のオイルチラーでは難しかった±0.1°Cの高精度な油温管理を実現。制御精度が必要な工作機械の主軸冷却などにも安心してご使用いただける仕様となっています。



私達は、持続可能性を
追い求めています。



(株)アピステと当社サステナビリティメンバー

ノンフロンオイルチラーは、株式会社アピステと芝浦機械株式会社にて共同試験を行い、サステナビリティを目指した取組により、ご提供させていただきます。

ご用命は、当社 工作機械カンパニー工作機械サービス部へお願いします。

持続可能な社会の実現に貴社も参加してみませんか！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



芝浦機械株式会社

工作機械サービス部

御殿場工場 〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-120
TEL 0550-87-4054 FAX 0550-87-4057

東日本SS 〒333-0847 埼玉県川口市芝中田2-9-12
TEL 048-262-0333 FAX 048-262-0332
中日本SS 〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社5-307
TEL 052-702-7941 FAX 052-702-7945
西日本SS 〒536-0008 大阪府大阪市城東区関目1-10-7
TEL 06-6934-5391 FAX 06-6934-1041

※ご用命は、お近くの出張所においてもお受けします。技術者は、御殿場工場からの訪問となります。

Shibaura Machine

SM-0008